



題字 小川 東州



一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地5 札幌ホワイトビル3階

TEL 011-209-7000 FAX 011-209-7011 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

 働く人と
共に歩んで
55年

第12回北海道支部総会が開催されました

平成27年度6月28日(日)札幌サンプラザにおいて、第12回北海道支部定時総会が実施されました。本部からは河野会長と桑原理事にお越しただいて、昨年を上回るたくさんの会員の皆様に出席していただきました。お陰さまで予定時間内で滞りなく終了することができました。

当日参加の皆様、委任状を送付して下さった皆様、ご協力ありがとうございました。



山村支部長代行挨拶

前支部長の体調不調により12月から支部代行を務めております。2003年に支部となってから12年が経ちました。同じ年に全国研究大会が札幌で開催され、その時のテーマが『生きることと働くこと～北の大地から考える』でありましたが、現在もその旗のもとで活動してまいりました。

2014年も会員基盤の確立と活動拠点の拡充をベースに、出合いを重ねて仲間を増やして組織・地域にかかわってきております。この流れは本年も継続していきたいと考えております。平成14年度から育成・研鑽システムを展開しておりますが、おかげ様で人が育っていき、社会的信頼に結びつき、事業に結びつけるというサイクルが継続されております。

今年度は12月よりストレスチェックも導入されます。今後も働く人を支えるという視点に立ち活動をしていきたいと思っております。そのためには、会員皆様のお一人・お一人のお力をいただければと思っておりますので、本日もご意見・アイデアがございましたら遠慮なくご提案いただければと思います。

～ご挨拶要約～



河野会長挨拶

昨年も来させていただき2回目です。

就任して2年が経過しましたが、解決すべき問題は、いくつかあります。

例えば、産業カウンセラーの試験制度、講座の有り方なども改革の余地があります。シニアに関しては、新しい制度がスタートしました。将来的には、レベルは上がるが数は減少すると見込まれます。

また、資格ポイント制についてもブラッシュアップした人とそうでない人で差をつけるべきであると考えます。そういった改革の中で産業カウンセラーの領域を高めていきたい。協会の強みは、これだけ傾聴を取り上げている教育訓練機関は他にはないということです。

是非世の中の役に立つ産業カウンセラーになってもらいたい。会員の三分の二の人には、ブラッシュアップをしてもらいたいと考えております。

養成講座の運営に関しては、例えば年間3000人でペイできる料金体系を考えてはどうか。大きい支部・小さい支部の調整が必要であるが、受講者が減少する傾向に備えたい。

キャリアコンサルタントの国家資格は、参院は通っているが、派遣法・労基法の改正の件で時間を要している。ここで産業カウンセラーとキャリアコンサルティングはどんな関係にあるのか皆さんにも考えていただきたいと思います。

協会の中には、キャリアコンサルティングの仕事は、産業カウンセラーのメインの仕事ではないと考えている人がいる。キャリアコンサルティングに関しては、現行制度で資格を持っている人では十分なレベルではないという事です。

しかし、キャリアの現場では、若年者の不就業の問題もあり産業カウンセラーとして身に着けた事が役に立つ場面もある。

国もこの問題は解決したいと考えているので今回の法制度に結びついている。

産業カウンセラーの要素プラスちゃんとしたキャリアの勉強をするといいい方向になるのでないかと思う。また、キャリアに関してのマーケットも広がっていきます。

また、受験資格のある人8月に是非キャリアコンサルタントの試験を是非受けてほしい。

この2年間で国も変わるし、世の中も変わりますので是非皆さんといっしょに頑張っていきたいと思います。

～ご挨拶要約～



桑原理事挨拶

変遷する時代の中で養成講座も含めて進歩していかなければならないとともに、会員一人一人が作っている組織ということ認識して、次世代につなげて行こうというお話がありました。また同時に、北海道支部の賛助会員の企業へのインタビューの予定があり、8月または9月の会報誌にその記事が掲載されるので楽しみに待っていただいとのご案内も合わせてありました。



第45回協会本部定時総会の報告

平成27年5月30日(土)に沖縄コンベンションでセンター行われました定時総会・全国研究大会の報告が、代議員として出席した林相談事業部長よりありました。

定時総会は、総代議員343名の内、委任状含め304名の出席者で成立し、議長は神奈川支部の栗竹支部長が務め、1号議案・4号議案ともに承認されましたが、3号議案・4号議案についてはいろいろな意見が出されて、近年にない活発な総会であったこと。会長のお話にもありましたが、良い意味での会員組織で運営されている総会の印象が強かったとお話がありました。

また、第44回の全国研究大会は、北海道支部では第三分科会に参加し、坂野先生のコーディネイトのもと事業推進部の行政との連携事業について発表があったことを報告、詳細はすずらん等でお知らせしたいとの内容でした。

議案審議(山村支部長代行が議長)

審議に入る前に司会者より本日の出席者が55名、委任状提出者255名、計310名となり、総会成立要件を満たしている旨の報告がありました。

まずはじめに議事録署名人に横山郁子さん、堀淳博さんをお願いすることとし、その後安井副支部長より2014年の事業報告がなされ、乙坂事務局長より収支状況について報告がありました。

また、支部監事であります十川さんより4月17日に2014年4月1日から2015年3月31日までの会計処理についての監査を行った結果、関係帳簿・現金など適正に処理されている報告もありました。

議長より、2014年度の決算・事業報告については、本部総会で既に承認されていることも補足として報告がありました。

続いて審議事項となり、

- 第1号議案：2015年度事業計画案・収支予算について担当部長、乙坂事務局長より、提案・説明がありました。挙手による採決で反対・保留なしで承認されました。
- 第2号議案：北海道支部規定変更の件が安井副支部長より提案がありました。挙手による採決で反対・保留なしで承認されました。
- 第3号議案：2015年度・2016年度北海道支部役員選任の件が、安井推薦委員長より、提案がありました。特に幹部9名体制から12名体制、運営協議員トータル26名体制は、業務の多忙化への対応、会員サービスの向上に繋げることを強調されておりました。同様に、挙手による採決で反対・保留なしで承認されました。

出席者の皆様からは、いくつかのご質問・ご提案もいただきました。貴重なご意見として今後の支部運営に役立たせていただきたいと思います。



新役員(敬称略)

運営幹部 松山 翰吉・木村 礼子・金 利紀・清水 良子・滝上 晶子・藤原 育(計6名)
運営協議員 上松 美穂・加納 高士・桜井 幸司・佐藤留美子・菅田みどり・富岡 弓貴・三宅 隆司(計7名)
監事 前嶋 靖

退任される役員(敬称略)

運営協議員 中田 信子・赤川 素子・宮本 智子・西塚 和美(計4名)

退任される方は、当日は出席されておりましたが、長い間支部活動にご尽力いただき、大変ありがとうございました。

新任役員の皆様も松山支部長をはじめ、当日出席している皆様には、一言ずつご挨拶をいただきました。

また、本総会でご承認をいただきましたので会員の皆様には、各役員の役割、新支部規定、組織図を同封いたします。



新任役員を代表して

●新支部長より

* 支部長就任にあたり *

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会北海道支部
支部長 松山翰吉

このたび、支部長を担うことになりました松山翰吉です。簡単に自己紹介したいと思います。私はキャリアとしては、これまで民間企業で組織運営に多くの時間を費やしてきましたが、それがこの度の任務でお役にたてればと思っております。これからの2年間、ラグビーの合言葉でありますAll for One、One for All 直訳しますと「一人は皆のために、そして皆は一人のために」ということで、ひとりひとり思いやりをもって、お互い助け合うということが必要と言うことでしょうか。この気持ちを基本にマネジメントをしてゆきたいと考えております。

昨今、一般社会現象としてSNSが進化する中で、コミュニケーション障害と言うのでしょうか。以前のようにFACE-TO-FACEで話合う場が少なく、心の中での思いこみの世界が跋扈することが多くなっているような気がします。そこにベターな人間関係構築への壁があるのではないのでしょうか。つまりお互いの情報のディスクローズが求められていると感じます。北海道支部を支える会員皆様への情報を、事務局やHP、広報を通し出来る範囲でオープンにしてゆきたいと考えております。

私たち産業カウンセラーを取り巻く昨今の環境は、改正労働安全衛生法によるメンタルヘルスチェックの義務化、キャリアコンサルタントの国家資格化、改正労働者派遣法による派遣期間3年縛りの撤廃など日に日に変化しており、これまで以上に支部会員としての活動領域が広がっています。

このような環境下であり、基本的なことはカウンセリングやコンサルティングする技術でもなく、講話の内容でもなく、聴く、話す心の持ちよう、つまり優しく暖かな眼差しであり、共に感じる人であることが求められているのではないのでしょうか。

行政機関、企業・団体であれ生産性向上や利益などの成果を求められるのは自明の理ではありますが、同時に働く人の心の健康保持のために、それ以上に気を配る、つまり人間尊重の基本理念があって初めて産業が進化し発展するのではと思っております。

私たち産業カウンセラーの役割を再認識し、カウンセリングを求めるクライアント、メンタルヘルス講話を求める行政機関、そして民間企業・団体からのニーズに応えるには自分自身含め、継続的な自己研鑽への更なる努力が今必要と痛感しております。

会員の皆様の今後の一層のご活躍とご健康を祈念いたしましてご挨拶いたします。



●相談事業部 副部長になって

相談事業部として2年、微力ながらお手伝いをさせていただきましたが、今年、相談事業部の副部長という大役をいただきました。

今までの経過を理解して、いろいろな仕組みを活かせるように、考えていきたいと思っております。

カウンセラーとして一人ひとりが成長し、組織としても発展できるように、頑張りたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。(木村礼子)

北海道支部総会 講演

「産業カウンセラーの役割と活動」～改正労働安全衛生法を受けて～

今年も昨年に引き続き、支部総会の講演で河野会長のお話をきく機会をいただきました。

内容はタイトルにあるように、労働安全衛生法の改正によるストレスチェックのあらたな実施に関してでした。健康診断同様、事業所にストレスチェックが義務づけられる意図は、私たち労働者が健康で豊かな職業人生を歩めるよう、そのサポートのひとつと考えられます。ただ、その実施方法、事後の対処の仕方によっては効果が望めない展開も考えられます。

そこで、河野会長はストレスチェックが意味あるものとして機能するために我々産業カウンセラーがその役割を担うということのひとつの方法として提言されました。労働者側の個人の思い、結果の通知の方法、個人情報の取り扱い、就業上の措置等々、現場の対応は大変難しく、混乱が予想されます。最終的にはやりっぱなし・・・といった事態もうまれるかもしれません。そこで会長は、個人の思いを受けとめ、その人の望む形で事業者へつなげるといったデリケートできめの細かい役割を産業カウンセラーこそが担っていけるのではないかと、いや、むしろ積極的に我々が入り込んでいこう!と話されました。それがひいては当会の事業推進にもつながっていくというお話でした。

産業カウンセラーの役割や、社会の中での今後の活用の仕方などを考える機会となりました。また「役に立つ」産業カウンセラーとしてのあり方を私自身も探っていこうと思えました。

一年に一度、総会の場所で懐かしいお顔に出会い講演をきくことで、産業カウンセラーについてあらためて考えることが、私にとって大切な時間となっています。来年また皆様にお会いすることを楽しみにしています。またたくさんの会員の皆さんにもお会いできますように…。

(N.M)



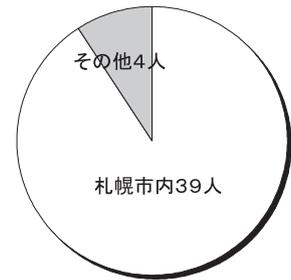
《総会終了後に回収したアンケートの結果をまとめましたので、ご報告いたします》

出席会員 55名 アンケート回収 43名

Q1 お住まいについて

1 札幌市内	2 その他
39	4

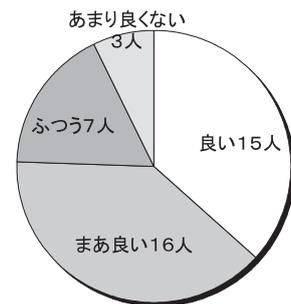
1. お住まいについて



Q2 通常総会の内容・進行について

1 良い	2 まあ良い	3 ふつう	4 あまり良くない	5 良くない	回答なし
15	16	7	3	—	2

2. 通常総会の内容・進行について



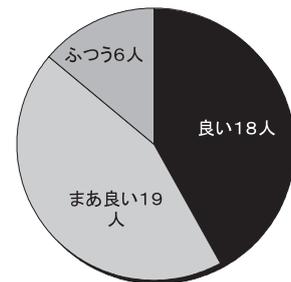
◆コメント

- ・総会時間が長い(1時間~1時間半が適正だと思う)
- ・時間厳守をお願いします

Q3 2014年度事業の取組状況について

1 良い	2 まあ良い	3 ふつう	4 あまり良くない	5 良くない	回答なし
18	19	6	—	—	—

3. 平成26年度事業の取組状況について



Q4 2015年度支部方針(案)について

1 良い	2 まあ良い	3 ふつう	4 あまり良くない	5 良くない	回答なし
20	16	6	1	—	—

◆コメント

- ・会員への社会環境変化に対応しようとする感じが受けられた

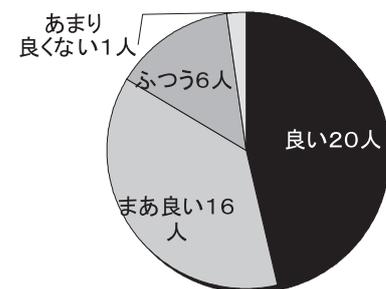
Q5 2015年度事業計画(案)について

1 良い	2 まあ良い	3 ふつう	4 あまり良くない	5 良くない	回答なし
17	17	8	1	—	—

◆コメント

- ・会員への社会環境変化に対応しようとする感じが受けられた
- ・事業推進、講師派遣の計画を積極的に推進してほしい

4. 平成27年度支部方針(案)について



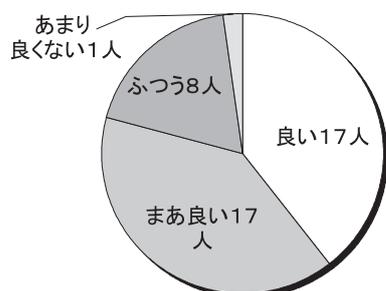
Q6 今後ご自身が参加したい支部活動

- ・広報活動
- ・会員研修を通じ、自分の職場内の課題に対応できる力をつけたい
- ・出来る事があれば何でも参加したい
- ・CC講座部
- ・ホワイトカフェ

Q7 支部への要望など、ご自由に記入してください

- ・河野先生の正直な講演が役に立ちそう
- ・多くの会員が総会に参加できるよう早めにHP等で日程を告知し、総会の開催が目立つようにいたほうが良い
- ・会員同士が交流し、情報交換できる場がほしい
- ・総会時間を短縮し、講演を充実させてほしい
- ・会員数の減少が気になる
- ・自主研鑽グループの仲間募集の掲示板などHP活用が進めばうれしい
- ・地方で産業カウンセラーの認知度を高めるためにどのようにしていくと良いか検討してほしい
- ・協会と会員とのやり取りを紙媒体を主軸としていることを改善して頂きたい(メール・HP・紙媒体と選択肢を設けて運用すれば、経費削減につながる)

5. 平成27年度事業計画(案)について



第44回全国研究大会in沖縄<第3分科会>に参加して

今年の総会・研究大会は、5月29日の交流会に始まり、30日～31日にかけて北海道からは一番遠いけれど、支部とは縁の深い沖縄の地で開催されました。本大会中、沖縄支部の皆さんが至るところでお声かけや心遣いをいただき、気持ちよく楽しめた3日間でした。



さて、今年の分科会では3つの継続テーマが設定され、そのうちの一つ「新たな事業の取り組みについて」をテーマとした第3分科会では、コーディネーターの坂野雄二先生、ナビゲーターの桑原理事に見守られ、北海道支部からは「北海道地域自殺対策緊急強化事業による成果物をとおした今後の事業推進活動」について、前事業推進部長の山村さんと、前相談事業部長の林が発表させていただきました。

北海道支部の特徴として、行政との長年にわたる地道な活動を中心として培ってきたつながりや信頼関係を事業推進の展開の一つとして、昨年度、支部会員の皆さまにご協力いただいて作り上げたテキストとDVDという形になり、そうした積み重ねを今後は民間企業との信頼関係の基盤として、事業展開につなげていきたいという思いを中心に発表いたしました。

もう一つの発表は、中部支部から「事業推進におけるマーケティング戦略」について山田典壽氏からの発表で、新たな企画提案を積極的に売り込んでいく事業推進の様子が発表され、坂野先生から「お互いに対照的な印象ではありましたが、いずれも『産業カウンセラーだからできる事』や『社会の信頼を受け活動できる産業カウンセラーをどう集めるか』等、売り込みと育成の両輪をまわすことが事業拡大の一つのポイントであり課題でもあること」等、午後からのグループセッションに投げかけられ、参加された各支部の会員からも活発な意見交換がなされました。

「出来ない事の理由探し」ではなく「どうすれば出来るのか、わからない時こそ本部・支部という垣根を越えて探っていく」ことが、今を打開するきっかけになり、更には自分たちの所属する支部の良さを改めて見直し、新しい主体的な発想が生まれてくるのではないかなど、継続テーマにふさわしく来年につながる課題も見えてきたと感じました。

(代議員 林 美幸)



各部からお知らせ

事業推進部より

■ 職場のメンタルヘルス対策、進んでいますか？

昨年に引き続き、札幌市よりメンタルヘルス研修の講師派遣事業を受託いたしました。札幌市内限定の事業ですが、職場の活性化、安全衛生研修の一環としてご利用いただければと思います。

対 象／札幌市内にある5人以上が受講できる事業所・協同組合・労働組合などの団体
会 場／各事業所が用意
募 集 期 間／平成27年7月11日(土)～平成27年7月31日(金)
派 遣 期 間／平成27年10月1日(木)～平成27年12月28日(月)
派 遣 回 数／全30回(申し込み多数の場合は、札幌市にて中小企業を優先して抽選となります)
料 金／無料
お問い合わせ／支部事務局 tel 011-209-7000

■ こうなる！ストレスチェック制度

昨年6月に成立、公布された改正労働安全衛生法にもとづく『ストレスチェック制度』が、本年12月1日から施行されます。支部では、企業様向けにその運用方法についての公開講座を実施いたします。

会 場／支部会議室
日 時／平成27年9月1日(火) 10:00～12:00
定 員／20社
料 金／無料(定員オーバーの場合は、抽選とさせていただきます)
お問い合わせ／支部事務局 tel 011-209-7000

広報部より

■ 北海道支部のホームページが新しくなりました！

ご存知でしたか？7月1日から支部のホームページが新しくなりました。北海道を代表する花でもある「すずらん」とカウンセラーをイメージする優しいグリーンはそのままに、以前のホームページの温かさをしっかりと引き継いで、より沢山の情報を皆さまに送り届けることができるようパワーアップしました。是非アクセスしてみてください。⇒ <http://www.do-counselor.jp/>

The screenshot shows the JAICO website with several callouts:

- A callout box on the left points to the navigation menu, listing: 関連団体からのお知らせ (Notice from related organizations), 厚生労働省 (Ministry of Health, Labour and Welfare), 働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」 (Mental Health Portal Site for workers "Heart of Mind"), JAICO (General Incorporated Association Japan Industrial Counselors Association), and カウンセリング関連書籍刊行案内 (Notice of related counseling books).
- A callout box at the bottom left points to the JAICO logo and text: 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 TVコマーシャル (JAICO TV Commercial).
- A callout box at the bottom center points to the main content area, stating: 協会のテレビコマーシャルもネットを使って見ることができます。 (You can also watch the association's TV commercials on the internet).
- A callout box on the right points to the "会員ページ" (Member Page) link in the top right corner, stating: 会員専用ページには、過去の会報誌「すずらん」だけでなく、会員様だけにお伝えする旬な情報を掲載しています。 (The member-only page features not only past newsletters "Suzuran" but also timely information shared only with members).

関連団体のサイトをバナー(リンクを張った画像)にすることで、アクセスしやすくしました。

協会のテレビコマーシャルもネットを使って見ることができます。

会員専用ページには、過去の会報誌「すずらん」だけでなく、会員様だけにお伝えする旬な情報を掲載しています。

これからはどんどん記事を掲載して、皆さまに沢山の情報をお届けしたいと思います！

行事等のお知らせ

会員研修

◆札幌市「心理カウンセリングの理論と実際① ～クライアントの自己への取り組みを どのように援助するか～」<5ポイント>

日 時：8月8日(土) 10:00～17:00 (6時間)
場 所：かでの2.7 (920会議室)
講 師：清水 信介(トボス心理療法オフィス所長)
定 員：40名
受講費用：6,000円
申込締切：7月31日(金)

◆帯広市「夏の傾聴トレーニング研修」<5ポイント>

日 時：8月22日(土) 10:00～17:00 (6時間)
場 所：日専連ビル(研修室)
帯広市西2条南8丁目8番地
講 師：養成講座実技指導者
定 員：20名
受講費用：4,500円
申込締切：8月14日(金)

◆札幌市「気づきのワークショップ ～ゲシュタルト療法を体験する②～」<3ポイント>

日 時：8月28日(金) 18:30～20:30 (2時間)
場 所：かでの2.7 (1040会議室)
講 師：田中 千恵子(祐ソーシャルスキル・アカデミー代表)
定 員：40名
受講費用：2,000円
申込締切：8月21日(金)

◆札幌市「産業カウンセラーが 知っておくべき労働法」<5ポイント>

日 時：9月5日(土) 10:00～16:00 (5時間)
場 所：かでの2.7 (1050会議室)
講 師：道幸 哲也(放送大学教授)
定 員：40名
受講費用：5,000円
申込締切：8月28日(金)

◆旭川市「認知行動療法 実践講座 ～職場における カウンセリングに生かす～」<5ポイント>

日 時：10月25日(日) 10:00～16:00 (5時間)
場 所：ときわ市民ホール(予定)
講 師：坂野 雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：5,000円
申込締切：10月16日(金)
受講要件：シニア研修「認知行動療法」もしくは
会員研修「ステップアップ研修」の受講経験者
☆講師のご都合により、9月27日(日)から変更することになりました。
大変申し訳ございません。

◆札幌市「認知行動療法 実践講座 ～職場におけるカウンセリングに生かす～」<5ポイント>

日 時：8月9日(日) 10:00～16:00 (5時間)
場 所：かでの2.7 (920会議室)
講 師：坂野 雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：5,000円
申込締切：7月31日(金)
受講要件：シニア研修「認知行動療法」もしくは
会員研修「ステップアップ研修」の受講経験者

◆函館市「夏の傾聴トレーニング研修」<5ポイント>

日 時：8月22日(土) 10:00～17:00 (6時間)
場 所：サン・リフレ函館(中会議室)
講 師：養成講座実技指導者
定 員：20名
受講費用：4,500円
申込締切：8月14日(金)

◆札幌市「ストレスチェック制度について」 <3ポイント>

日 時：8月31日(月) 18:30～20:30 (2時間)
場 所：かでの2.7 (710会議室)
講 師：石見 忠士(こころの耳運営事務局長)
定 員：60名
受講費用：2,000円
申込締切：8月24日(月)

◆札幌市「NLPテーマ③(アンカリング)」 <3ポイント>

日 時：9月15日(火) 18:30～20:30 (2時間)
場 所：かでの2.7 (1040会議室)
講 師：山田 尚子(米国NLP協会認定トレーナー)
定 員：40名
受講費用：2,000円
申込締切：9月8日(火)

◆函館市「NLP入門講座」<5ポイント>

日 時：10月25日(日) 9:30～15:30 (5時間)
場 所：未定
講 師：山田 尚子(米国NLP協会認定トレーナー)
定 員：20名
受講費用：5,000円
申込締切：10月16日(金)

詳細は本号および3月号に同封しました
「2015年度会員研修のご案内」をご覧ください

研修申込先 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部
札幌市中央区北4条西7丁目1番地5 札幌ホワイトビル3階
電話：011-209-7000 FAX：011-209-7011
振込先 郵便振替 02700-9-1731 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部